

もりふれ倶楽部通信 NO. 37

ふるさと森林公園 開園20周年によせて

もりふれ倶楽部 理事長 榎原道夫

20年 やっと成人！ 森林としての骨格ができ、風格がでてきました。森林公園として県民の皆様いろいろなアピールできるのはこれからが本番です。森林公園としての今後、将来をどうとらえるか、そして県民の皆様にご利用していただくか、森の番人をおおせつかっている もりふれ倶楽部にとっても大きな課題であります。

この冬は、日々の気温の変動が激しく春のような陽気の温かい日と厳寒の厳しい寒さの日が2～3日交替でやってきて、体調の維持にも大変苦労させられました。しかし全般的には温暖化がさらに進んだ暖冬であったことには間違いなさそうです。自然の草木の開花現象がこの数年の中では一番早かったように思います。従来感覚からすれば5～10日は早かったのではないのでしょうか。さらに、気圧の変動も激しく、高気圧と低気圧のせめぎあいによる台風なみの春の嵐が吹き荒れて、木々が大変傷つけられたりもしました。

樹木は春の陽気を一体どこにあるセンサーでどのようにして感じ取るのでしょうか？ まったく不思議です。

ご承知のように、木の幹の芯(中心柱)は死細胞の集合体です。生きている細胞(原形質が詰まって、実際に呼吸等の生命活動をしている)は、皮1枚下の表皮とか皮層とかの部分、光合成等の生命活動で作られた同化物質の通路になる篩管、また細胞数を増加させる生長点・形成層と呼ばれる実際の成長にかかわる分裂組織とかのごく限られた、体表面近いところにある細胞群です。細胞の生活に必要な好環境が維持されれば、仮に体内の深いところで腐敗などが生じその部分が崩壊するようなことがあっても、木全体の生活にはあまり影響がないのです。

また樹木は、自分の生活の範囲(なわばり)を宣言するために、あるいは害虫、カビ、病原菌等を防・排除(自己防衛)するために、フィトンチッドと呼ばれる揮発性の微量ガス(主な成分はテルペン類等)を発散します。これは樹木が発散する香り成分の1種でもあり、森の中で感じるすがすがしさ、気分を落ち着かせる清涼感の成分でもあります。即ちヒトの脳の活性化を促し、自律神経の働きを促進させる物質です。

樹木が光合成によって作り出す酸素を大量に含み、生きる機能の活性化を図る新鮮な空気と気持ちを落ち着かせ、より生きる気持ちを活性化する芳香成分をたくさん含む空気に触れることが、健康を維持する一番の秘訣です。

ところで、ふるさと森林公園は眼下に出雲平野を見下ろす高台にあります。今出雲は古代史ブームにのっとり全国から注目されています。1300年前に編纂された古事記(712年完成)、出雲国風土記(733年完成)の 国引き、国譲り、オロチ退治等の神話の舞台が目の前に広がっています。その神話の舞台が仮想のものでなく現実のものであったという証拠が、多量の青銅器が出土した荒神谷遺跡であり、岩倉遺跡なのでしょう。かつては一大王国であった出雲、その王様が大国主命であったのでしょう。その雄大なスケールの舞台を眺めるだけでも気宇壮大、健康づくりにはもってこいです。

現在の健康づくりといえば、ウォーキング。ルールに支配されることもなく、自由意思で好き

なように動き回りができ、誰にでもできるスポーツです。

ふるさと森林公園をウォークすることにより気宇壮大な気分になり、森の精気を吸い、ややもすればストレスにさらされて、不健康な日々を送りがちになる日常を変革させる場にしてほしいものです。

森林公園の中だけでは物足りない方には、森林公園を基地にして、荒神谷遺跡公園までの往復、あるいは近くに中世の山城跡がたくさんあります。そこへのウォーク、また出雲空港へのウォーク。出雲平野の真ん中から歴史の舞台を眺めるのも気宇壮大になりますよ。

なんにしてもふるさと森林公園は県民の財産です。県民の皆様が一度と言わず何度でも訪問していただけるような公園にしなければなりません。良い知恵を貸してください。



ふるさと森林公園開園 20 周年を記念して、2013 ふるさと森林公園森の誕生日実行委員会（島根県・公益社団法人島根県緑化推進委員会・一般財団法人宍道湖西岸森と自然財団・NPO法人もりふれ倶楽部）が、2013 森の誕生日祭を開催しました。晴天にも恵まれ、1万人の来園者が集まり、楽しみながら森について考える1日を過ごしました。



宍道小・森を守ろうダンスでオープニング



消防署によるレスキュー実演



森の音楽会（島大吹奏楽・松江ウインドアンサンブル）



大好評！森誕を見下ろす木登り体験



チェーンソーカービング



苗木の無料配布に列をなす人達



食の上下流交流、奥出雲や雲南から餅、山菜天ぷら、手打ちそば、名産のお菓子等出展



島根県森林インストラクターによる、竹細工広場・花炭づくり・ネイチャートレイルング体験指導



森林保全PRコーナー、ふくろうのキーホルダー・丸太切り競争・木切れ工作コーナー



中海から白鳥号に乗り、90名が来園！民話を披露！



移動動物園も登場



安全運転体験車



白バイと記念写真も登場

平成24年度 もりふれ倶楽部の歩み

1月15日(火)松江市立母衣小学校第3回みーもスクール

松江市母衣小学校5年生84名に対して、第3回みーもスクールで、「ヒノキの和紙作り体験」指導を行い間伐の大切さを伝えました。指導 中村正志、野田真幹、宮崎徳子



1月16日(水)雲南市立西小学校第5回みーもスクール

雲南市立西小学校4年生33名に対して、第5回みーもスクールで「森林保全の大切さの講義」と間伐等の「森林整備体験」を指導しました。

指導 響 繁則、中村正志、野々村俊成、福岡茂明、野田真幹他

1月18日(金)雲南市立西日登小学校対応

雲南市立西日登小学校5年生11名に対して、「森林保全の大切さの講義」を実施しました。この事業は緑の募金の助成を得て行われました。

指導 野田真幹



1月19日(土)津和野町「山の宝でもう一杯プロジェクト」対応

津和野町において、作業路づくりの研修を実施しました。

指導 村上和寛、野田真幹

1月20日(日)益田市真砂地区森林整備研修

益田市真砂公民館と近隣の森林において、地元自治会有志に「伐木造材のチェーンソーワーク」指導を実施しました。

指導 坂越浩一、穂井田頼、高濱徹、野田真幹



1月24日(木)しまね森づくりコミッション出前講座29

しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、出雲市立朝山小学校3年生15名に、「森林保全の大切さの講義」、「ネイチャーゲーム」指導、1,2年生38名に「森林保全の大切さの講義」、「木切れ工作」の指導、4~6年生44名に「森林保全の大切さの講義」を行いました。指導 野田真幹、宮崎徳子



1月30日(水)しまね森づくりコミッション出前講座30

しまね森づくりコミッションでは出前講座の一環として、安来市立赤屋小学校全校児童31名に、「森林保全の大切さの講義」、「ヒノキの和紙作り体験」を行いました。指導 野田真幹、宮崎徳子



1月31日(日)島根県立出雲農林高等学校対応

島根県立出雲農林高等学校において、環境科学科1年生30名に対して、「シイタケの植菌体験と林産物を考える」をテーマに「シイタケ生産方法」「林産物を考える」の講義と「シイタケ植菌体験」の指導を行いました。指導 響繁則、野田真幹

2月6日(水)しまね森づくりコミッション出前講座3 1

しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、松江市立出雲郷小学校特別支援学級5名に対して「木切れ工作」の指導を行いました。

指導 宮崎徳子、小林玲子



2月7日(木)しまね森づくりコミッション企業出前講座1

しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、松江市に本社を置かれている株式会社ヤマサキに対して「森林保全の講義」と、森の名手名人の認定を受けておられる栗栖誠氏の講和を実施しました。

講師 栗栖 誠、野田真幹



2月8日(金)しまね森づくりコミッション出前講座3 2

しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、大田市立志学小学校5, 6年生11名に、「森林保全の大切さの講義」、「ヒノキの和紙作り体験」を行いました。指導 野田真幹、宮崎徳子

2月10日(日)第10回里山自然塾~ハゼの実で和ろうそくを作ろう!~

第10回里山自然塾「ハゼの実で和ろうそくを作ろう!」を開催しました。参加者32名は、島根県森林インストラクターの中村正志氏からハゼノキについての話を聞き、ハゼの実からろうをとってろうそくが出来るまでの工程を実際に体験しました。



2月11日(月祝)大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第9回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志

2月16日(土)中国労働金庫松江地区労福協労金部会対応

ふるさと森林公園学習展示館において、中国労働金庫松江地区労福協労金部会「森の大切さを体験する親子ふれあいセミナー」で、「森林保全の講義」、「竹筒ごはん」「竹フライパンでオムレツづくり」の指導を行いました。

指導 中村正志、三枝共子、野田真幹



2月17日(日)森林ボランティア講座

島根県立ふるさと森林公園において、森林ボランティア講座(チェーンソーの目立とチェーンソーワークの基礎)を開催しました。

講師 坂越浩一、穂井田頼

2月22日(金)しまね森づくりコミッション企業出前講座2

しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、浜田市三隅町に本社を置かれている、河野建設株式会社に対して「森林保全の講義」と、森の名手名人の認定を受けておられる響繁則氏の講和を行いました。

講師 響繁則、野田真幹



2月26日(火)しまね森づくりコミッション企業出前講座3



しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、松江市の株式会社山陰合同銀行本店にて「森林保全の講義」と、森の名手名人の認定を受けておられる響繁則氏の講和を行いました。

講師 響繁則、野田真幹



2月27日(水)しまね森づくりコミッション企業出前講座4

しまね森づくりコミッションでは、出前講座の一環として、益田市大谷町に本社を置かれている、大畑建設株式会社において「森林保全の講義」と、森の名手名人の認定を受けておられる響繁則氏の講和を行いました。

講師 響繁則、野田真幹

3月3日(日)第11回里山自然塾

～ナラ枯れ問題と雑木林！燃料としての木！燻製を作りながら考えよう！～

第11回里山自然塾「ナラ枯れ問題と雑木林！燃料としての木！燻製を作りながら考えよう！」を開催しました。

参加者35名は、島根県森林インストラクターの野々村俊成氏、竹田正彦氏からの指導で、ナラ、サクラの原木を使った本格的な燻製作りと段ボール、ペール缶を使った家庭でもできる燻製作りの基本を学びました。

講師 野々村俊成、竹田正彦



3月10日(日)大人のための自然観察会

ふるさと森林公園において、第10回大人のための自然観察会を開催しました。

指導 中村正志 ボランティア 百合澤博文

3月16日(土)森林ボランティア(佐田町吉栗の郷)

出雲市佐田町吉栗の郷の裏山において、「1日限りの作業班」シリーズの一環として、森林整備作業を行いました。

スタッフ 青木宣雄、河上岳裕、野々村俊成、三枝鋼一、山崎功
中村正志、野田真幹



もりふれ倶楽部今後の予定

5月18日(土)10時～15時 森林ボランティア1日限りの作業班：地拵え

出雲市佐田町目田森林公園～古くから親しまれていた遊歩道を復活させよう！

参加者募集中：1日中各自のペースで作業をします。参加費無料・昼食支給

持ち物～軍手・飲み物・雨天時は雨具・虫に弱い方は虫除け

前日正午まで申し込お受けします。会員の方には、若干の交通費補助を支給します。

場所のわからない方はご相談ください。

5月19日(日)10時～15時 県民の森「第1回里山の憩い講座」～薪と竹のハーモニーを楽しむ

竹筒で炊き込みご飯や竹で沸かすお茶、この時期でも楽しめる山菜天ぷらも楽しめます。

参加者募集中：参加費 500円

注．このイベントの申し込みは 0854-76-3119 「もりのす」へお申込みください。

5月26日(日) 10時～12時 松江市樹木観察会(詳細未定)

6月1日(土)～2日(日) 島根県森林インストラクター・しまね森林活動サポートセンター登録団体スキルアップ研修～自然観察分野(子ども樹木博士・夜の自然観察会等予定) 講師 佐藤仁志 参加費1万円(2食宿泊交流会費込)

場所：ふるさと森林公園 学習展示館集合 1日13時～2日12時

注．もりふれ倶楽部はサポートセンターに団体登録していますので、会員の方はどなたでも参加できます。また、正式な募集が始まっていませんので、参加申し込みは、もりふれ倶楽部で取りまとめ、開始と同時に申し込みます。希望者は事務局までお申し込みください。

6月8日(土) 9時30分～11時30分 ふるさと森林公園学習展示館集合

第1回大人のための自然観察会(自然を撮ろう!カメラを持って集まろう!)

森林インストラクター中村正志氏が、感動的な自然との出会いへご案内します。(16歳以上のみ参加できます。)

参加者募集中：参加費100円 持ち物～カメラ持参をお勧め

前日正午まで申し込みをお受けします。

6月9日(日) 10時～15時 里山自然塾「野草の力を知る!笹巻きと薬草茶」

参加者募集中：参加費500円 場所：ふるさと森林公園学習展示館と園内

持ち物～弁当・飲み物 定員20名(申し込み順)

6月16日(日) 雲南市「森の健康診断」(詳細未定)

6月22日(土) 10時～15時 「竹藪を退治して、竹と友達になろう!」

参加者募集中：参加費1,000円 昼食付

9時10分発でふるさと森林公園学習展示館前から無料送迎バスが出ます。現地は9時50分集合。

雲南市 自転車競技施設 温泉交流館

～竹筒でつくる筍ごはんと竹フライパンのオムレツ作り・色々な竹食器作り 昼食(地元産のおかずも出ます) 竹林の整備の仕方実演と体験 座談会 竹と仲良くなるには

もりふれ倶楽部会報

NO.37

〒699-0406 松江市宍道町佐々布3352

ふるさと森林公園学習展示館内 もりふれ倶楽部

TEL(0852)66-3586 FAX(0852)66-3586

[メール morifure@coffee.ocn.ne.jp](mailto:morifure@coffee.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://www.morifure.jp/>